

い～な！いなべ
アイデアコンテスト
INA-CON (イナコン)

概要説明

アイデアコンテストの概要

【コンテストの目的】

- * いなべ市の「まちづくり」を学生の皆さんに知ってもらい、自分の住む又は通うまちの課題や未来について考えてもらうことで、まちづくりに関心を持ってもらいたいと思います。
- * そして、いなべ市がよりよいまちとなっていくために、学生の皆さんからアイデアを募り、中でも優れたアイデアを市の施策として実行していきます。

アイデアコンテストの概要

【コンテストの概要】

■ 4つの分野でアイデアを募集します！

- * I. 『い～な！いなべ』しごと創生部門
（雇用促進・産業振興等）
- * II. 『い～な！いなべ』であい創生部門
（観光・空家・交流促進等）
- * III. 『い～な！いなべ』みらい創生部門
（子育て支援関係）
- * IV. 『い～な！いなべ』くらし創生部門
（福祉・防災関係）

アイデアコンテストの概要

【コンテストの概要】

■ (1) 参加は自由です！

- * 1人でも、複数のグループでも結構です。
- * 申込用紙に必要事項を記入し、学校まで申し込んでください
- * 2/10日頃、締切り予定です。後日、学校を通じてお知らせします。

アイデアコンテストの概要

【コンテストの概要】

- (2) アイデア実現に向けて、
市が皆さんを支援します (2月)
- * 申込された学生さんを応援する機会として、学校でワークショップを数回開催し、アイデア実現への支援を行います。
- * ※参加は自由です。
- * ※ワークショップに不参加でもコンテスト応募は可能です。

アイデアコンテストの概要

【コンテストの概要】

- (3) 最優秀賞は市の政策として実行します！
 - * 3月に審査を行い、最優秀賞は市の政策として実行します（予算も上限10万円程度を準備し、皆さんのアイデアの実現性を高めます）。
 - * また、優秀賞も3つ程度選定し、市の各係でアレンジ、次年度の実行を検討していきます

お申し込みは...

【コンテストの申し込み】

■ お申し込みは学校の先生まで！

* 本日お配りした申込書に必要事項をご記入の上、学校の先生に提出してください。

皆さんのアイディアで、いなべ市をより良いまちにしてみませんか！ 是非、応募してください！

アイディアコンテストの事例紹介

*では、全国の高校生の
アイディア例を紹介します！

事例 1

地方創生☆政策アイデアコンテスト2015

未来につなげる 新商品プロジェクト！

～高校生と商店街のコラボでみんなを元気に～

福島県立ふたば未来学園高等学校

1年生・生徒会副会長

高橋 涼花



富岡町の桜の名所「夜の森の桜」



私の思い

私は、ふたば未来学園に通っています。ふたば未来学園は、双葉郡に今年4月に新しく開校した学校です。

元々は富岡町に住んでおり震災があつてからは、避難して須賀川市に住んでいました。現在は、広野町にある学校の寮に住んでいます。

私は、避難したもののこの生まれ育った地域が大好きです。そんな大好きな地元を元気にしたい、自分を育ててくれたこの地域の復興に携わりたいという思いがありふたば未来学園で生徒会に入りました。

生徒会では、避難していて休校になってしまうサテライト校との交流はもちろん、地域のお祭り「ふたばワールドin楡葉」で各校の気持ちを伝えるブースを設けて、自分達で作ったTシャツや、ステッカーなどを販売しました。こういった地域との交流はとても大切にしています。

この今回のアイデアを私たちが実施し、持続して町を元気にしていけたらと思います。

高橋涼花

(左) 双葉郡で震災後再開したお祭り「ふたばワールド」で、避難で休校になってしまう地域のサテライト高校に呼びかけて、一緒にブースを出しました。(2015年10月10日)

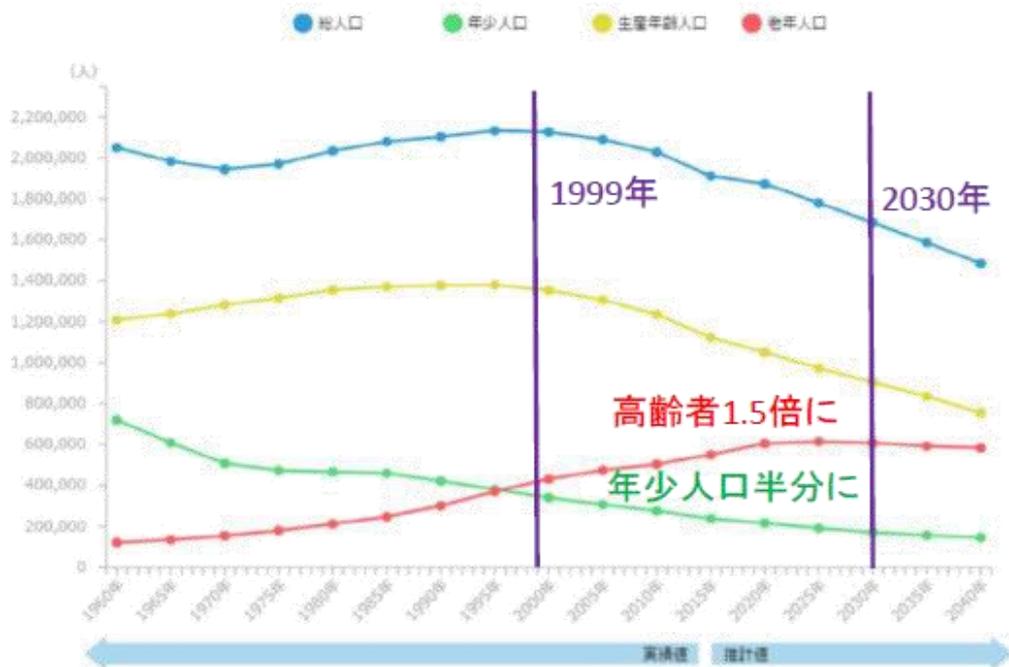
(右) 生徒会での活動についてご紹介いただきました。

(朝日新聞、2015年9月12日)



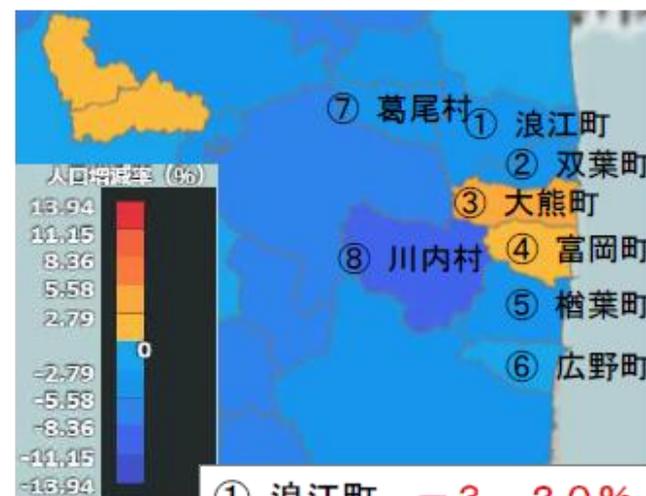
震災でより深刻になった、人口減少・少子高齢化

人口推移 福島県 (RESASより)



震災前の双葉郡の人口増減

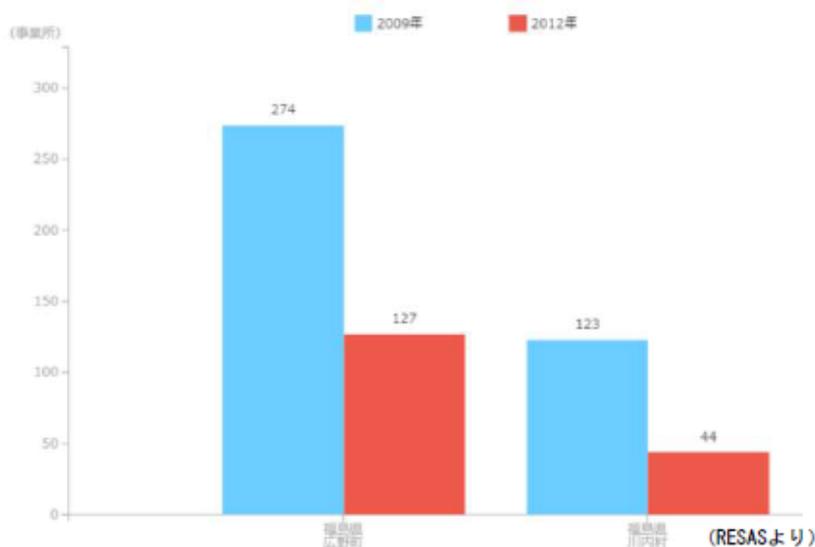
2005年~2010年 (RESASより)



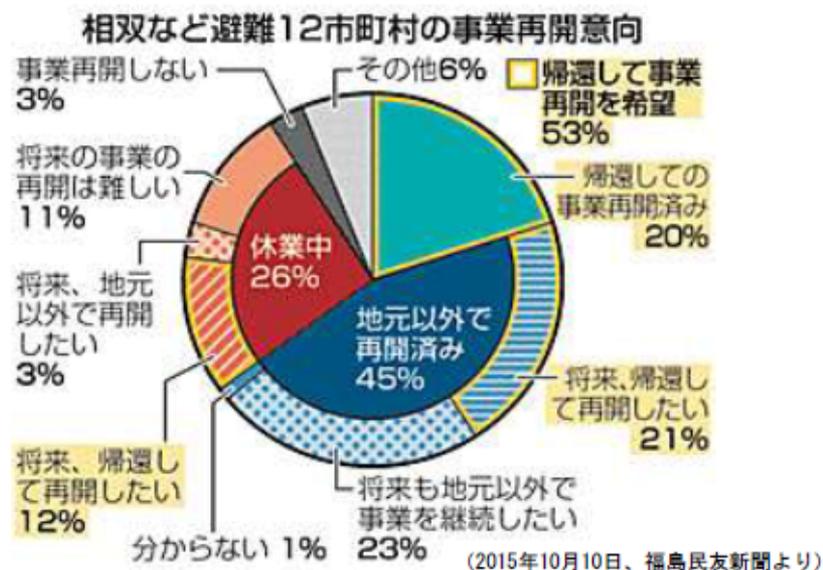
- 震災前から少子高齢化が進んでいた。
- 原発事故からの避難で、人口減少が加速。
(広野町の震災前の人口約5000人のうち、帰還した住民は約半数)

復興に向かって挑戦している双葉郡の事業者の状況

事業所数（双葉郡内で2012年に帰還していた町村）



地元で事業再開を希望する割合



- 地元以外で再開したり、休業中の企業もあるが、地元で再開したいという企業が53%と半分以上居る。
- 福島相双復興官民合同チーム^{*}が、地域の8000社を訪問中！事業を再開する支援をこれからも強化する方針のようだ。

^{*} 国や企業の出向者計140人で双葉郡などの約7900事業を訪問して復興の支援をするチーム。事務局長は「抜本的な支援策を考え、帰還して事業を再開する事業者を増やしたい」と話されている。

住民の生活を便利にする商業施設の開店

広野町の復興のための住民アンケート結果（2013年12月）

（1）現在の生活でお困りのことは何ですか。（複数選択可）

①日常生活用品などを購入する小売店がない、少ない	① 249件（77.8%）
②医療機関が少ない、または必要な診療科目がない	② 198件（61.9%）
③必要な介護サービスが受けられない	③ 16件（5.0%）
④公共交通機関（JR、バスなど）が不便である	④ 91件（28.4%）
⑤近隣に住民がいない	⑤ 97件（30.3%）
⑥自宅の周辺に作業員宿舎があり不安である	⑥ 96件（30.0%）
⑦その他（ ）	⑦ 46件（14.4%）

（1）広野町の復興に際し、必要と思われることを選んでください。（複数選択可）

①農林水産業などの第一次産業の復興（新たな農業基盤の創出）	① 170件（19.4%）
②町内の商工業などの復興（商業環境の充実）	② 560件（63.9%）
③若い世代の雇用を確保できる新たな産業の創出や企業誘致	③ 559件（63.7%）
④再生可能エネルギーの拠点づくり	④ 159件（18.1%）
⑤学校等の教育環境の充実	⑤ 271件（30.9%）
⑥大学等の研究施設の誘致	⑥ 76件（8.7%）
⑦高齢者施設や医療施設の充実	⑦ 433件（49.4%）
⑧公営住宅や住宅建設の促進	⑧ 190件（21.7%）
⑨人口増加を目的とした住宅分譲地の整備	⑨ 262件（29.9%）
⑩その他（ ）	⑩ 39件（4.4%）

広野町にイオンが出店

AEON NEWS RELEASE 本を載せています
AEON JAPAN

2015年4月24日
イオンリテール株式会社

『全町民の皆様 幸せな町作り・復興に向け みる里にて共に暮めたいと願っております』
広野ショッピングセンター（仮称）を新設いたします

広野町とイオンリテール株式会社は、本日、「広野町における商業環境整備に関する覚書」（以下、本覚書）を締結いたします。

本覚書の目的は、広野町長の町創促進のため、住民サービス向上の一環とした商業環境整備等に関し相互協力し、さまざまな取り組みを進めていくものです。

この度、具体的な事業として、広野町に店舗を設置し、イオンリテールがその核店舗として出店する、公設民営の複合商業施設「広野ショッピングセンター」（仮称）を今夏に新設いたしますのでご案内申し上げます。



- 町にイオンができることは、便利な一方で、私たちは商店への影響が不

1日約2万台の車が通過！！！！

国道6号線と、常磐自動車道の交通量

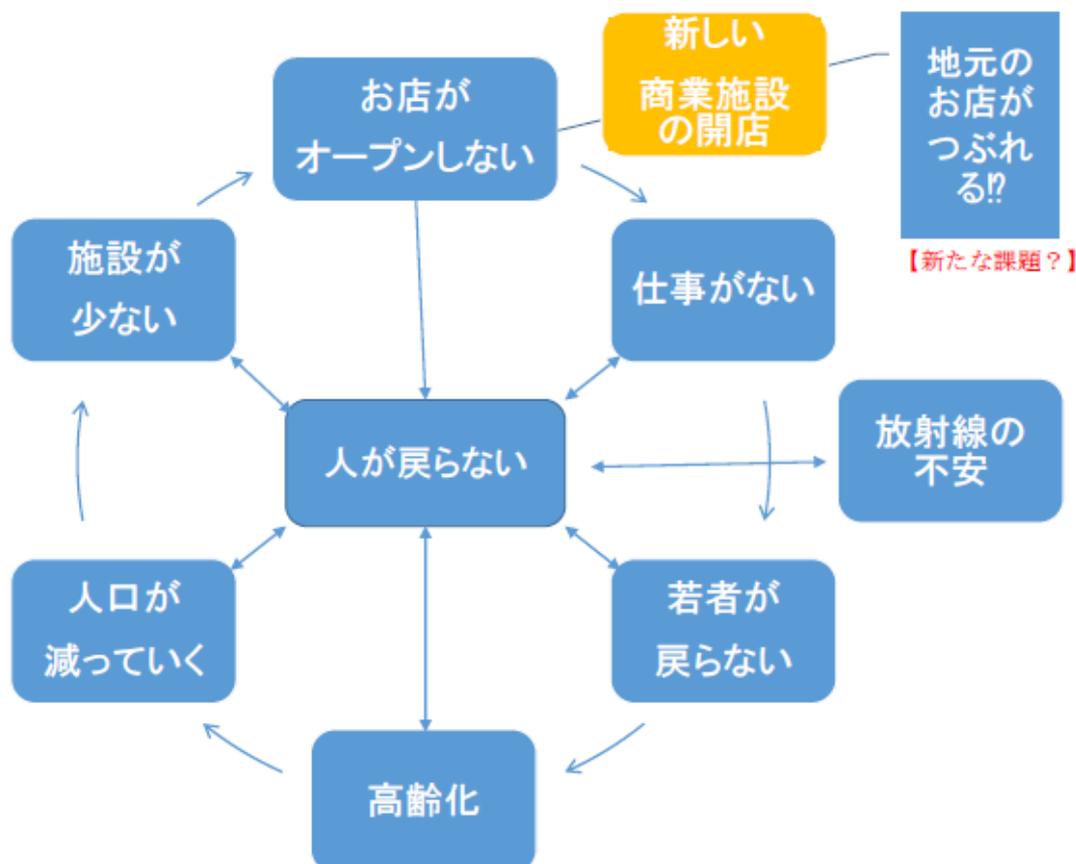


国道6号線 10,300台/一日、広野町
常磐自動車道 9,400台/一日、広野町



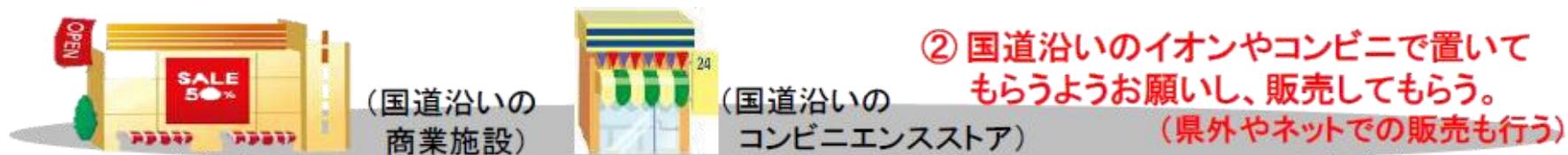
- ・復興の仕事で通過する人たちにも、地元の味を知ってほしい。復興の仕事で通過する人たちが買ってくれたら、地元の商業の復興につながる。

地域の復興をめぐる「悪循環」



- 様々な課題が複雑に絡み合っている。全てを解決しなければ復興は出来ない。復興は10年単位で考えて進んでいる。現在はまだ途中の状況。
- 今回は、悪循環を断ち切るために「お店がオープンしない」という課題に着目した。
- なぜなら、広野町民のアンケートで「復興に際し、必要と思われること」を聞いたところ、「町内の商工業などの復興（商業環境の充実）」が63.9%で最も多かったため（2013年12月）
- 復興の仕事で通過する人たちは約20000台いるが、地元の商店はこの人たちをお客さんにできていない。
- 一方で、広野町はイオンができる。しかし、いつも私たち学生が気軽に立ち寄りお世話になっている地元商店街への影響が心配になった。イオンによって、地元のお客さんを取られたり、営業の危機があるのではないかと。そういった理由で地元のお店がなくなるかもしれない。
【新たな課題?】

高校生と商店街のコラボの力で「復興の隙間」をうめる



イオンとコンビニ、商店街が、協力できる関係に！

発信力
アイデア
想いを込めた
付加価値
元気さ
働きかけ

(地元の高校)

(県内の高校)

(県外の高校)



① 高校生と地元の商店が協力して新しい商品を開発
(地元の高校だけではなく、多くの高校が参加する仕組み)

伝統の味

(地元で再開しているお店)

技術

お店同士の繋がり

(再開していないお店)

顔なじみのお客さん

(避難先で再開しているお店)



国や県からの支援

③ 地元の商店と高校生のマッチングを国や県が行う(福島相双復興官民合同チーム)
商品開発の費用の補助も少しする。

みんなを元気に！（このプランで生み出す効果）

事業者の
方にとって

- ① 地元の商店街が、高校生とコラボして新しい商品を生み出したり、国道沿いの商業施設で売ることによって利益も増え、**活性化**する。
- ② 事業再開を迷っている事業者にとって、高校生とコラボしたり、話すことで、**事業再開への小さいきっかけ**を与えることができる。
- ③ 地元の商店街と、新しく出店するイオンが、協力関係になり、お互いに利益が出る。

お客さんに
とって

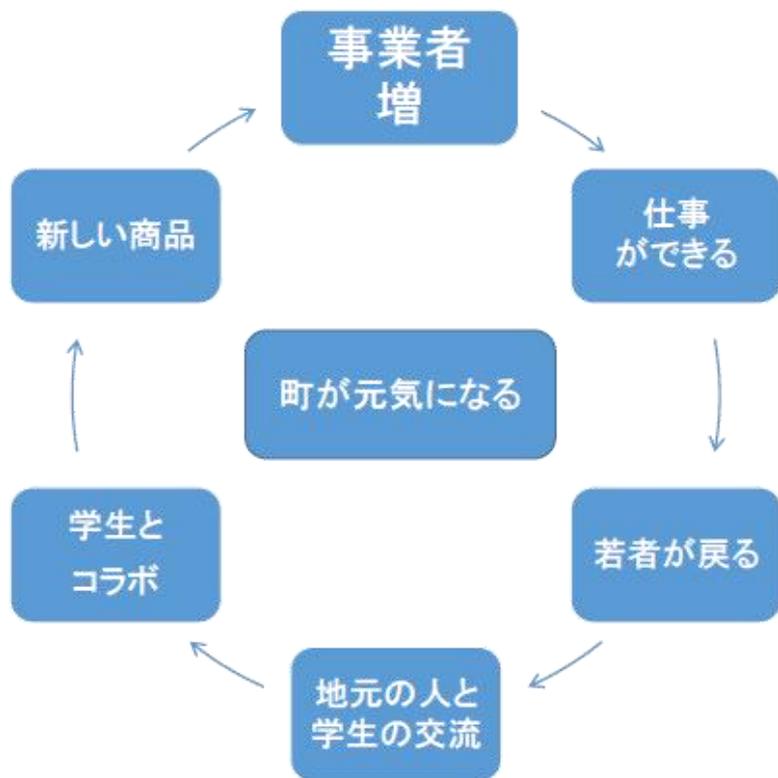
- ④ 町の人たちにとって、地元の商店街が残り、日常生活に必要なものを買う場所も増え、暮らしやすくなる。
- ⑤ 国道を通過していた復興の仕事をしている人たちにとって、**双葉郡の伝統の味**を楽しめるようになる。

高校生に
とって

- ⑥ 高校生にとっては、**愛着のある地元商店**も活性化し、買い物する場所が増えより便利になる。コラボすることで成長もする。

20年～30年後にもこの計画が残り 伝統や商店が活気づいた元気な町に必ずする。

地域の復興をすすめる「好循環」を生む



商店の方



町長さん



商工会長さん

事例2

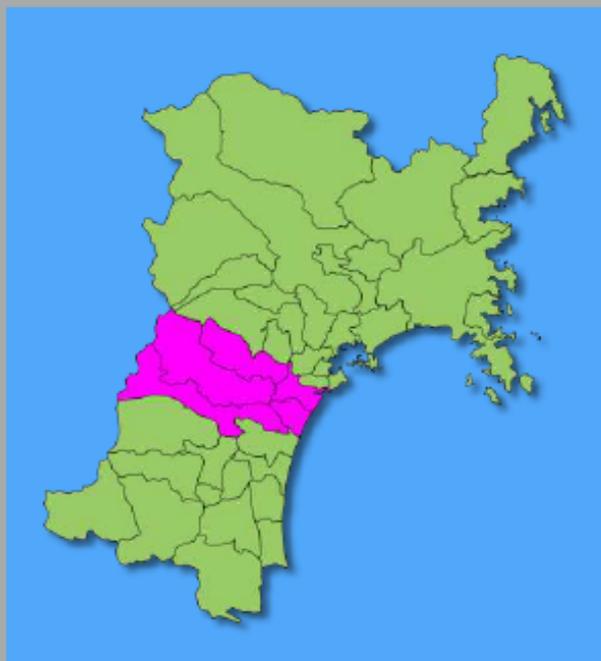
地方創生★政策アイデアコンテスト2015

若者が「とどまる」街
若者が「あつまる」街

～学都仙台における“企業附属大学”システム～

高校生以下の部 三浦 奈々美（宮城県仙台市在住）

選定地域（宮城県仙台市）と選択テーマ



宮城県全体（2015年） 【データはRESAS（人口マップ）より引用】

老年人口（65歳以上）：2,612,398人（29%）
生産年齢人口（15歳～64歳）：5,252,646人（58%）
年少人口（0歳～14歳）：1,064,328人（11%）

仙台市のみ（2015年）

老年人口（65歳以上）：237,732人（22%）
生産年齢人口（15歳～64歳）：690,910人（65%）
年少人口（0歳～14歳）：131,950人（12%）

- 5区（泉区・青葉区・太白区・宮城野区・若林区）からなる政令指定都市で、人口100万人を超える東北最大の都市
- 都市部にも多くの緑があるため、「都会」すぎず「田舎」すぎない、住みやすい地域

テーマA：地域の人口減少・少子高齢化を〇〇で解決する

テーマE：その他（地域の教育機関・企業を元気にする）

仙台市に住む高校生、私の3つの問題意識

「若者の地元離れ」

- ・私を含め、大学進学を理由に首都圏に行く先輩や友人たち
- ・東北内で大学進学をしても、首都圏で就職したいと望む友人たちの声

「学都仙台...？」

- ・3つの国公立大学と9つの私立大学が存在する仙台
- ・「学都仙台」という言葉に対する疑問

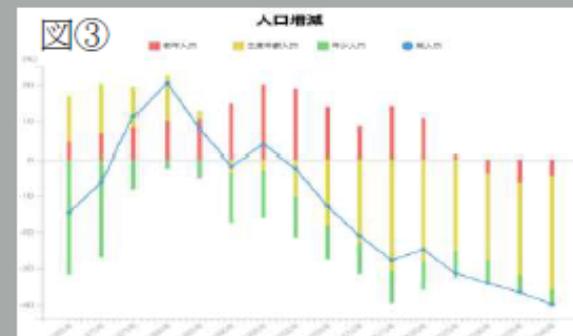
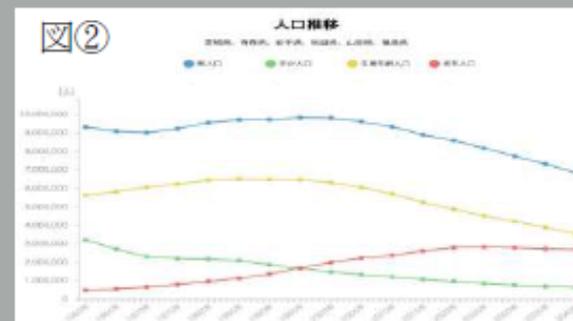
「大学生 = 就活」

- ・ある大学生から聞いた「就活の負担でせつかくの大学生生活が奪われてしまう」という話
- ・就職難と言われる時代

RESASを活用しての分析

問題点①：急速な少子高齢化・人口減少の進行

東北地方（青森県・岩手県・秋田県・宮城県・山形県・福島県）の合計データ



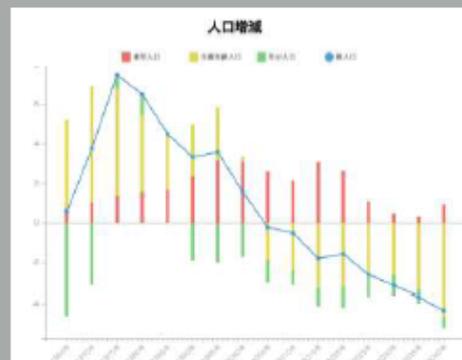
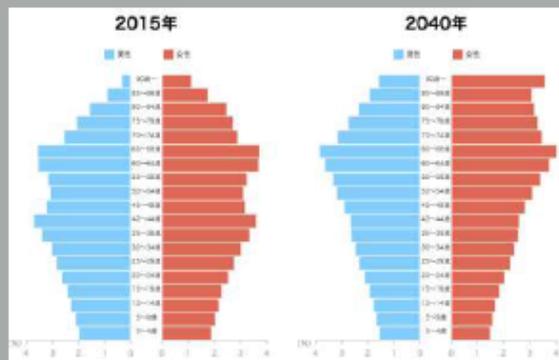
図①：75歳以上の後期高齢者が極めて増加

図②：2040年以降、老年人口が生産年齢人口に

達する勢いで増加する

図③：深刻な少子高齢化に伴う人口減少

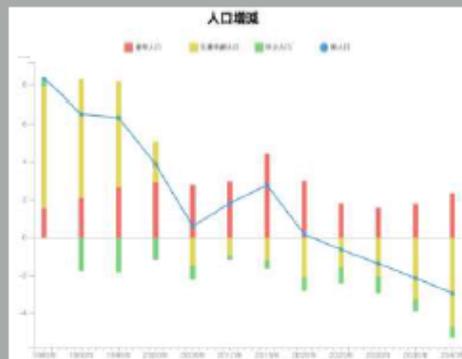
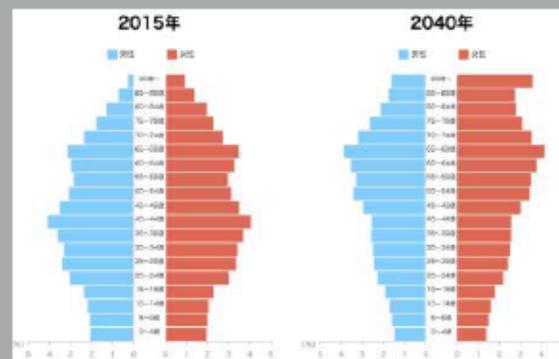
宮城県全体のデータ



・東北最大の都市である仙台でさえ、深刻な高齢化問題と人口減少

・2040年には、仙台市が“100万人都市”ではなくなってしまう

宮城県仙台市のデータ

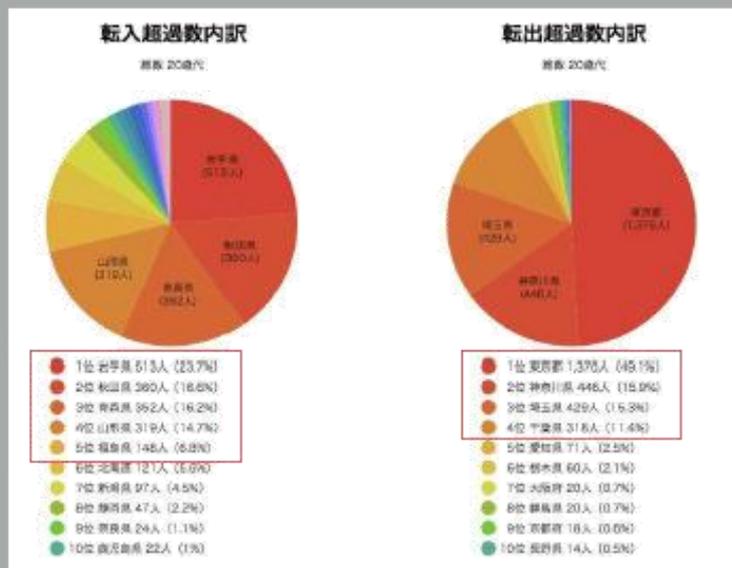


2040年の人口減少率

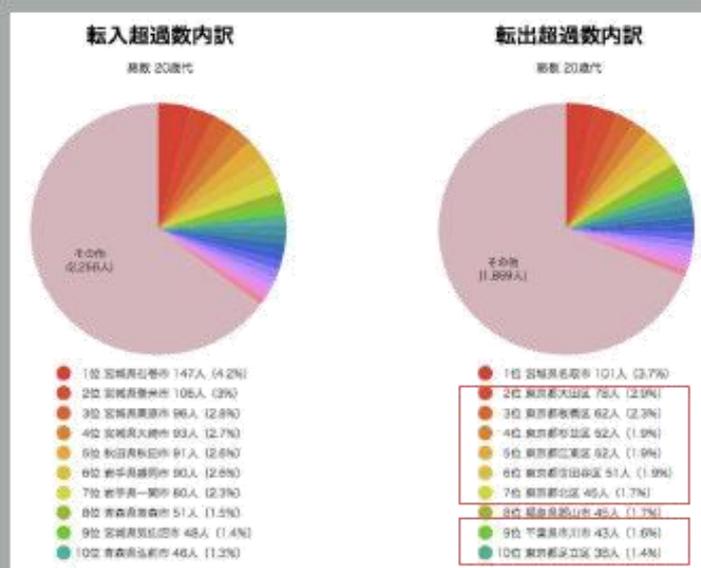
- 1位：秋田県（-42%）
- 2位：青森県（-41%）
- 4位：岩手県（-36%）
- 6位：山形県（-35%）
- 10位：福島県（-33%）
- 14位：宮城県（-32%）

問題点②：若者世代の都市部への流出

宮城県全体のデータ（20歳代のみ）



宮城県仙台市のみのデータ（20歳代のみ）



- ・ 東北各県から宮城県への転入 < 宮城県から東北外への転出
- ・ 仙台市から東北各地への転出が極めて少なく、**首都圏へ人口が流出**

RESASでの分析から考える課題と理想

課題

- 住民のほとんどが高齢者となり、東北各地の活気が損失
- 生産年齢人口の減少による、労働力低下と地域経済の衰退



理想

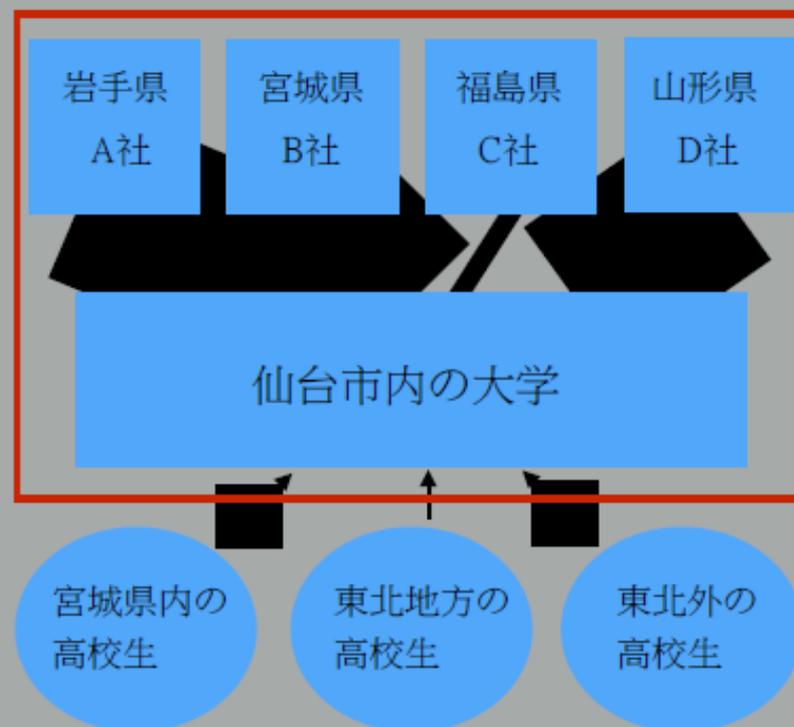
- 地元の若者の流出を防ぎ、大都市部からも若者が集まる街
- 若者が長く定住しやすい環境づくり
- 多くの若者がこれから増加する高齢者を支えていける社会
- 若者を主体とした活気溢れるまちづくり

“企業附属大学” システム を提案します！

◆ “企業附属大学システム” とは？

- ・ 「内部進学」ならぬ「内部就職」
ができる仕組みを設ける。
- ・ 学生は、大学を卒業すれば自動的に
付属している企業に就職できる。
- ・ 大学がいくつかの企業と連携する
ことで、学生も自分の働きたい
分野 の企業を選択することができる。

全体図



◆ なぜ“大学”と“企業”なのか？

- ・就職困難な中で就職率100%という魅力的な大学システムで人口流入を狙う
- ・就職による転出を防ぎ、一時的ではなく継続的に若者の獲得を狙う

◆ なぜ仙台市で実施するのか？

- ・3つの国公立大学と9つの私立大学が存在する「学都仙台」
- ・東北最大都市である仙台が起爆剤となり東北の少子高齢化・人口減少に貢献

◆ どのような企業と連携するのか？

- ・宮城県の創業比率は6位、有効求人倍率順位は10位（RESASによる）
という、全国的に見てもビジネスの街
- ・宮城県内の地元企業プラス東北各地の地元企業と連携

当政策案におけるメリット・デメリット

	メリット	デメリット
学生・大学	<ul style="list-style-type: none">・就活にとらわれずに学業や研究に専念できる・就職がしやすいという魅力に惹かれて集まる学生を獲得できる	<ul style="list-style-type: none">・就職がしやすいというだけで、そこまで多くの学生の獲得を見込めるのか
企業	<ul style="list-style-type: none">・学生の期間から人材育成が可能・新卒を採用する手間を省くことができる	<ul style="list-style-type: none">・必ず就職できる環境が競争力の低下を招き、人材の質の低下につながる恐れ
地域社会	<ul style="list-style-type: none">・若者世代の人口獲得・若い働き手の増加による地域経済の活性化	<ul style="list-style-type: none">・人口増加に伴う教育機関等の不足

将来の展望

- 民間団体でも広がる、Iターン・Uターン就職の動き
- まずは国公立大学×地元ベンチャー企業から実践



- “企業附属大学”システムの実現
- 地元若者がとどまり、全国各地からも若者が集まる



- 仙台市をロールモデルとして、各地の政令指定都市から人口分散が行われる
- 若者がさまざまな地域で活躍し、地方活性化

事例3

福島市立岳陽中学校 地方創生☆政策アイデアコンテスト 提案資料

福島市についてRESASを使った調査

<資料1 福島県福島市 農業部門別販売金額> 2010年

<資料2 福島県福島市 農業部門別販売金額> 2005年



農業の問題は大震災だけが原因でないことに気が付いた

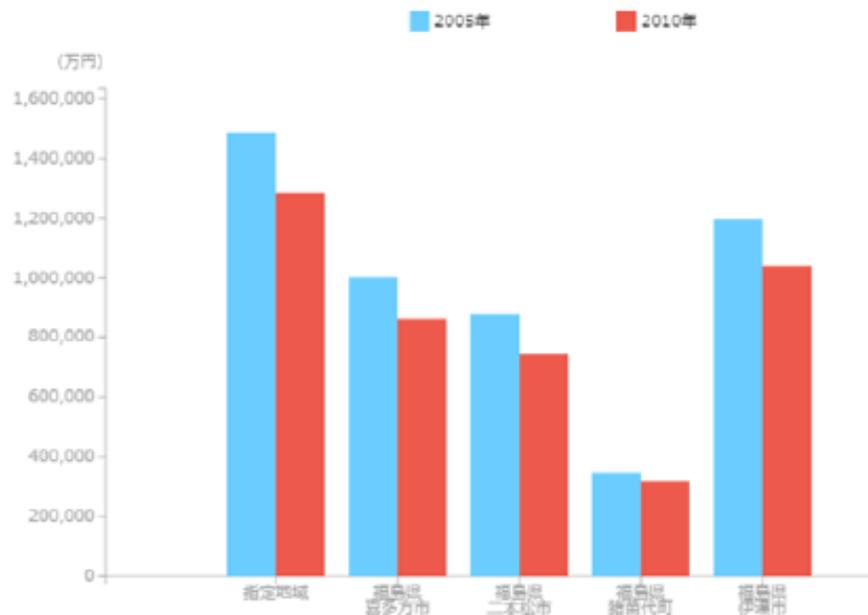
<資料3 福島市、喜多方市、二本松市、猪苗代町、伊達市の農産物販売金額>

<資料4 福島市の人口の変化>

農産物販売金額（総額）

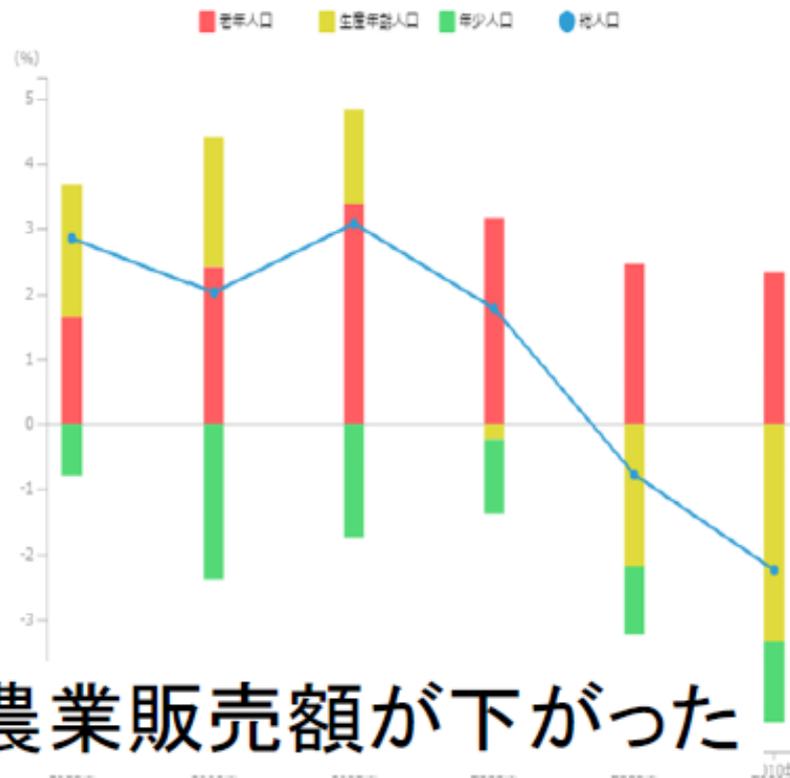
指定地域：福島県福島市

農業部門：すべての農業部門



福島県福島市

人口増減



【出典】
農林水産省「農林業センサス」再編加工

予想：人口が減少したから農業販売額が下がった

農家への聞き取り調査



《課題》

- 高齢者になり農業をやめる人が多い
- 農家を継ぐ人がいない
- 果物の価格が下がっている

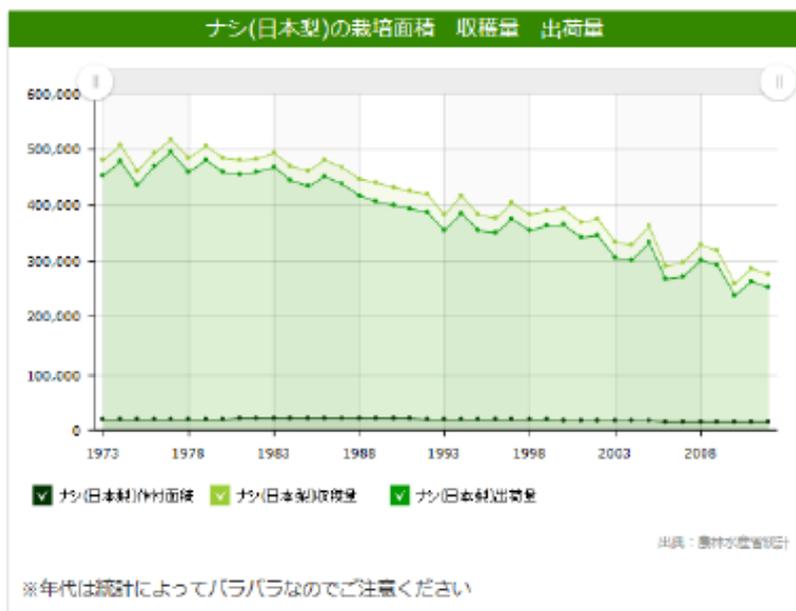
農協への聞き取り調査



- 後継者が少ない
- 果物の消費量が減っている

なぜ果物の消費量が減少したのか？

ナシの栽培面積・ 収穫量 出荷量



モモの栽培面積・ 収穫量 出荷量



飯坂温泉観光協会への聞き取り調査



- 若い人が少ない
- 外国人が来ない
- 除染が終わると客室が空く

・なぜ観光客が減少してしまったのか

RESASを使って福島、東京を訪れる外国人を調べた

<資料7 福島県と東京都を訪れる外国人の数>

	福島県の外国人旅行者	東京都の外国人旅行者
全ての合計人数	50902 人(2014 年)	6898247 人(2014 年)
	27151 人(2011 年)	3148563 人(2011 年)
アジア	34823 人(2014 年)	4866448 人(2014 年)
	15707 人(2011 年)	1968728 人(2011 年)
ヨーロッパ	3550 人(2014 年)	459213 人(2014 年)
	3446 人(2011 年)	248756 人(2011 年)
北アメリカ	12079 人(2014 年)	750119 人(2014 年)
	3983 人(2011 年)	401682 人(2011 年)
大洋州	450 人(2014 年)	219308 人(2014 年)
	1085 人(2011 年)	105180 人(2011 年)

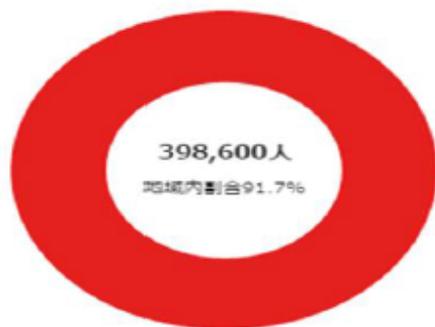
国内からどれくらい福島市に観光に来るのか？

福島によく来るのは福島に接している県...宮城県、山形県
逆に中国、四国、九州地方からほとんど来ない

観光マップ | From - to分析 (滞在人口)

滞在人口 / 都道府県内

(都道府県単位)

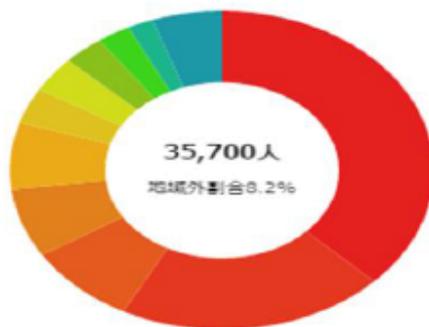


滞在人口/都道府県内ランキング 上位10件

- 1位 福島県 398,600人 (100.0%)

滞在人口 / 都道府県外

(都道府県単位)



滞在人口/都道府県外ランキング 上位10件

- 1位 宮城県 13,300人 (37.2%)
- 2位 山形県 7,300人 (20.4%)
- 3位 栃木県 3,000人 (8.4%)
- 4位 新潟県 2,500人 (7.0%)
- 5位 東京都 2,400人 (6.7%)
- 6位 埼玉県 1,300人 (3.6%)
- 7位 香川県 1,300人 (3.6%)
- 8位 千葉県 1,100人 (3.0%)
- 9位 茨城県 900人 (2.5%)
- 10位 青森県 700人 (1.9%)
- その他 1,900人 (5.3%)

観光客が少ない理由は

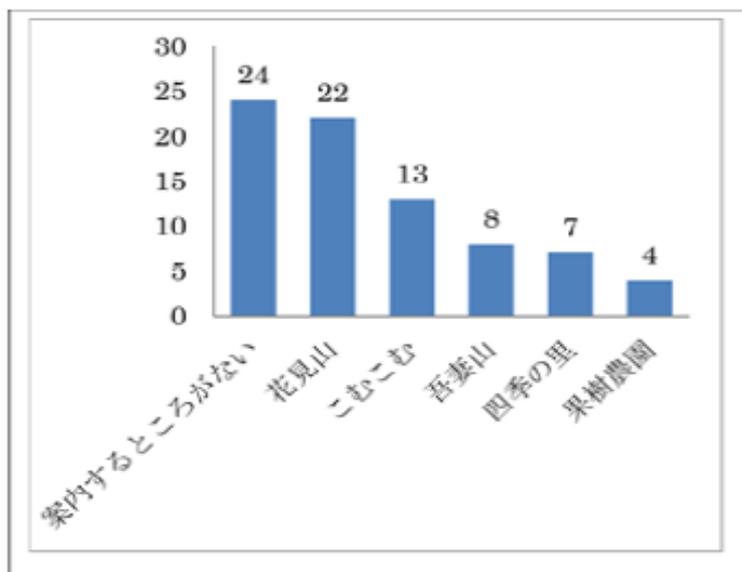
地元の人達にも、福島市の観光地は知られていないのではないか？



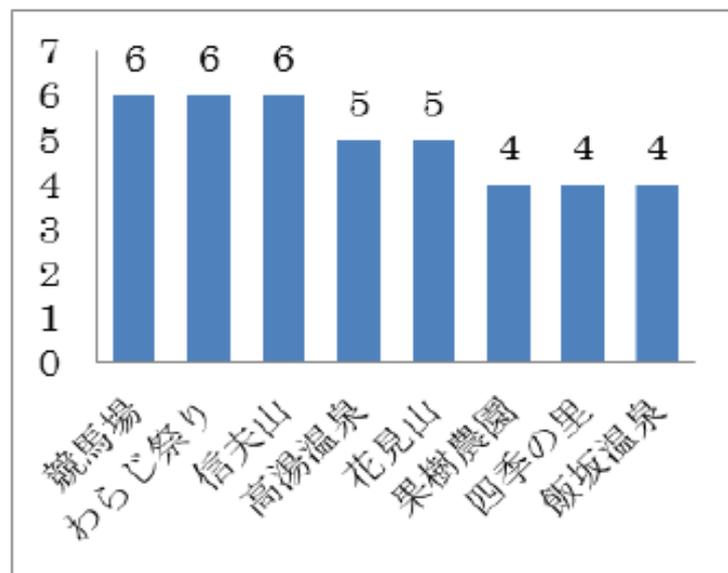
岳陽中学校3年、喜多方第一小学校の皆さんにアンケート

※喜多方第一小学校は、メンバーの渡辺美桜里さんの出身校

福島の名所



(岳陽)



(喜多方)

地方創生プラン

(1) 私たちの考える地方創生プラン

私たち中学生が福島市の魅力あふれる旅行プランを作成する。

その旅行プランを旅行会社に提案し、福島市の協力も得ながら実施する。

旅行の際は、自分たちが「福島中学生案内人(仮)」として、ガイド役を務める。

(2) 旅行プランを募集するときに使う福島市を紹介する キャッチフレーズ

気軽に来れて、いやされる、「花も実もある福島市」

(3) 私たちが取り組むこと

- ① 私たち中学生の視点から、「楽しい」「行ってみたい」と思う旅行プランを作ります。
- ② 私たち中学生がガイド役としてお客様を案内します。
- ③ 私たちが観光地を巡るCMを作り、YouTube等の動画投稿サイトに動画をアップして観光客を募集します。
- ④ 観光と農業を合わせることで新しい旅行プランを作ります。
- ⑤ 旅行会社と福島市に旅行プランの実施の協力をお願いします。

名物円盤ぎょうざ

プラン(案)

1日目(午前)スカイライン

(午後)飯坂温泉街歩き

2日目(午前)果物狩りと共選場見学

福島^の郷土料理を食べる



写真提供 万来様

共選場の様子



写真提供 JA新ふくしま様

私たちの今後の予定 12月中旬(作成中)

飯坂温泉街歩きプラン作成。

12月20日(日)

私たちが作ったプランで福島や宮城の先生方を飯坂温泉街歩きに案内する。

1月～

市内の他の地域の観光プランも作る。

お世話になった方々

- ・JA新ふくしま 清野様 ・果樹農園 角田様
- ・飯坂温泉観光協会 畑中様 ・飯坂温泉 麺飯酒家万来様
- ・ALTの先生 ・アクセンチュア村重様 ・福島大学の皆様
- ・喜多方一小の皆様 そのほかたくさんの皆様